

経済指標レポート 第228号

(社)関西経済連合会 経済・経営グループ(担当:壺井)

Tel : 06 - 6441 - 0102 Fax : 06 - 6441 - 0443

政府の景気に対する基調判断は、引き続き「回復している」となっている。また、各地の経済動向を見ても、「悪化している」地域はなくなり、緩やかなスピードながらもすべての地域が景気の回復を示している。

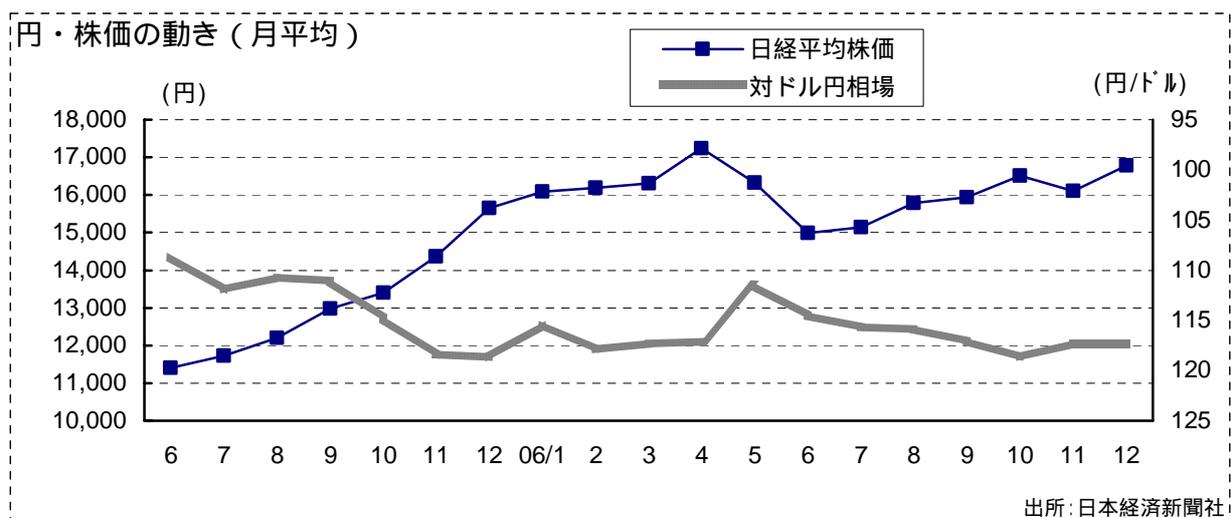
一方で、首都圏や関西圏、中部圏といった三大都市圏を除けば、47都道府県のうち32の道県が人口減少に直面している。また、一人あたり県民所得については、北海道、東北など地方を中心に21の道府県で前年を下回るなど、都市と地方との“地域格差”の実態が表れている。

こうした中、官製談合事件による前知事の逮捕という県政の混乱の中で今年21日に行われた宮崎県知事選において、元タレントの新知事が誕生した。就任早々、県内で鳥インフルエンザが発生し、その対応に早速全国的な注目を集めている。

宮崎県は温暖な気候と恵まれた降水量により農業が盛んな県である。また、ブロイラー(効率的な飼育方法で生産される食用鶏)は全国第一位の生産量を誇る。一方で、全国平均を100とした所得水準は82.8(2004年度)にとどまっている。

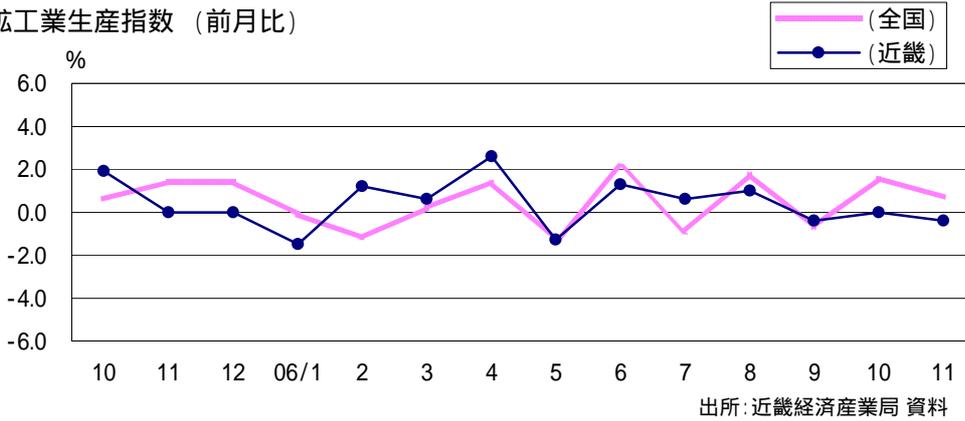
自ら“宮崎のセールスマン”を名乗り、地方から積極的に熱く元気な声をあげていこうとする新知事が、地域の自立と発展に向けてどのような施策を展開していくかが注目される。

各指標の動き(各指標項目は11月指標値)



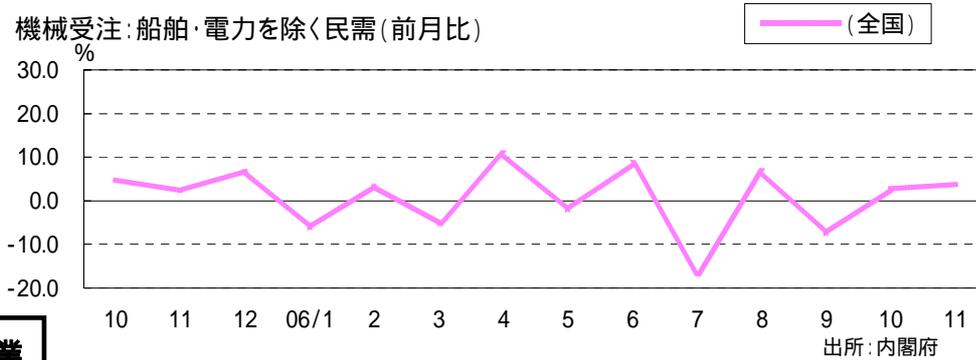
生産・機械受注

鉱工業生産指数 (前月比)



近畿は前月比 0.4% 減と 2 ヶ月ぶりに低下した。一般機械工業、電子部品・デバイス工業、情報通信機械工業が低下している。

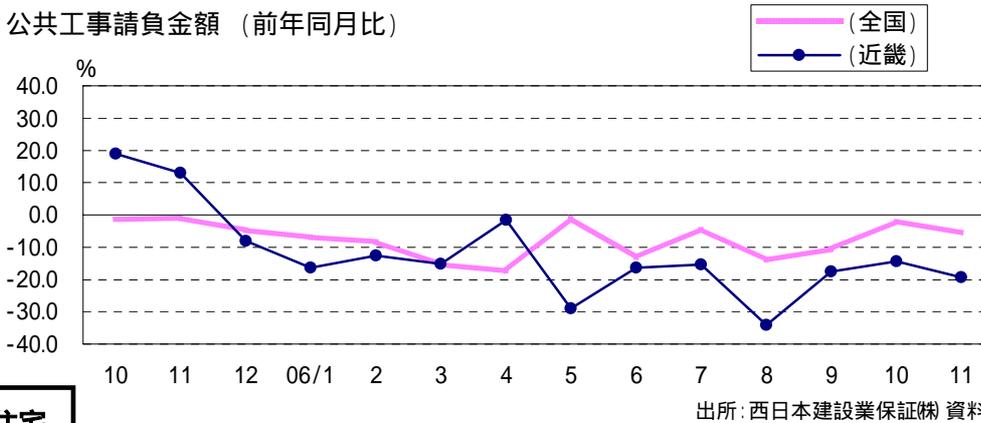
機械受注: 船舶・電力を除く民需 (前月比)



機械受注は前月比 3.8% 増となった。業種別の受注は製造業が同 9.7% 増、非製造業(船舶・電力を除く)は同 5.7% 増となった。

公共事業

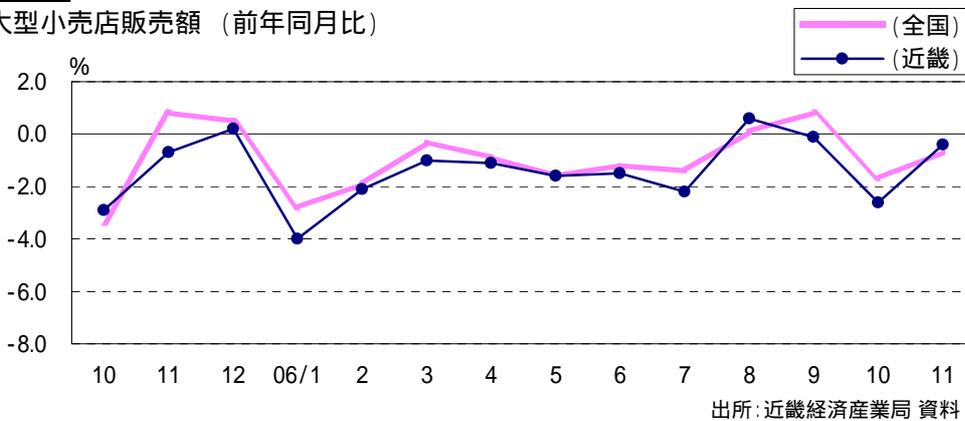
公共工事請負金額 (前年同月比)



近畿は前年同月比 19.4% 減。発注者別では「其他公共的団体」で 2 桁増となったものの、「国・市町村・独立行政法人等」で大幅減、「府県」で微減となった。

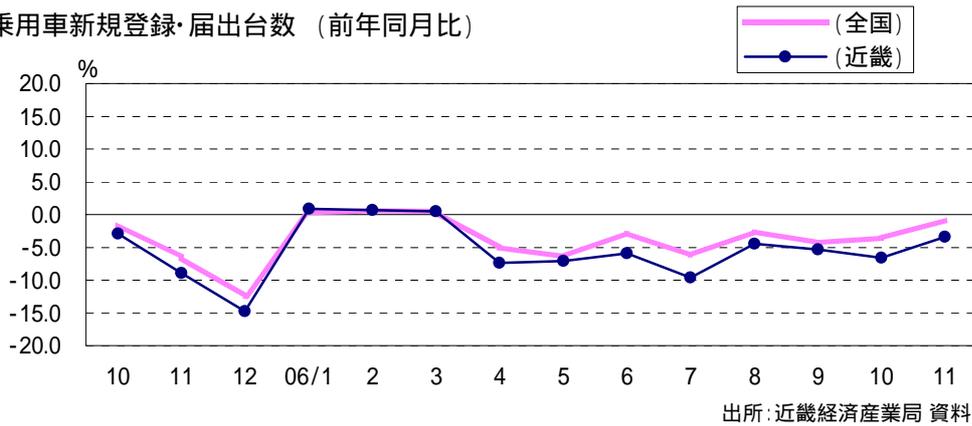
消費・住宅

大型小売店販売額 (前年同月比)



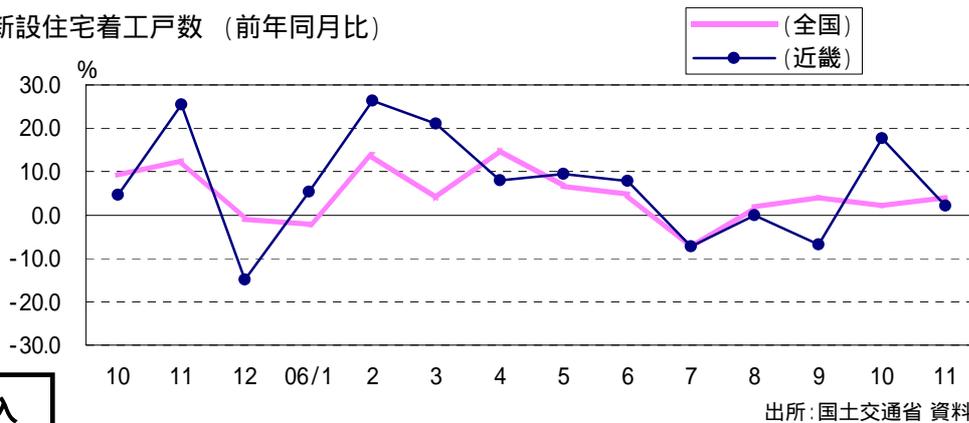
近畿は既存店ベースで前年同月比 0.4% 減と 3 ヶ月連続のマイナスとなった。「家庭用電気機械器具」「家具」「婦人・子供服・洋服」等の不調が大きい。

乗用車新規登録・届出台数 (前年同月比)



近畿は前年同月比3.4%減と8ヶ月連続で前年を下回った。普通車が17ヶ月ぶりに、軽四車が6ヶ月連続で前年を上回ったものの、小型車が8ヶ月連続で前年を下回った。

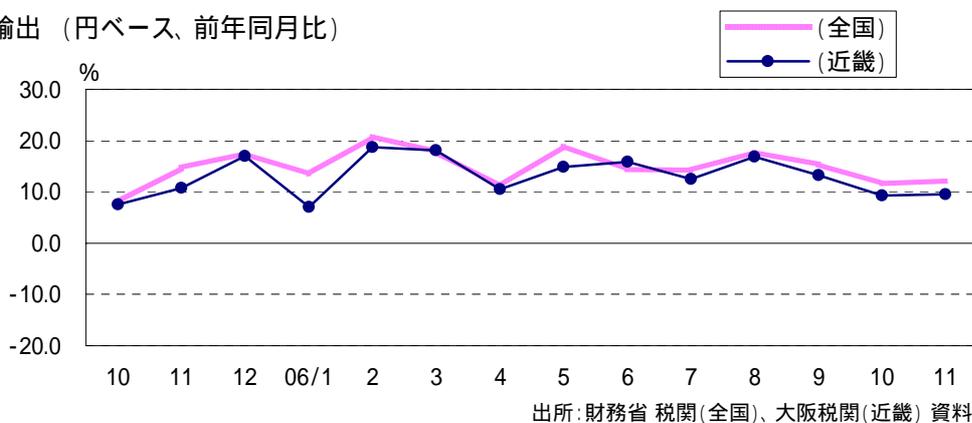
新設住宅着工戸数 (前年同月比)



近畿は前年同月比2.2%増と2ヶ月連続で前年を上回った。分譲住宅が2ヶ月ぶり、持家が2ヶ月連続で前年を下回ったものの、貸家が2ヶ月連続で前年を上回った。

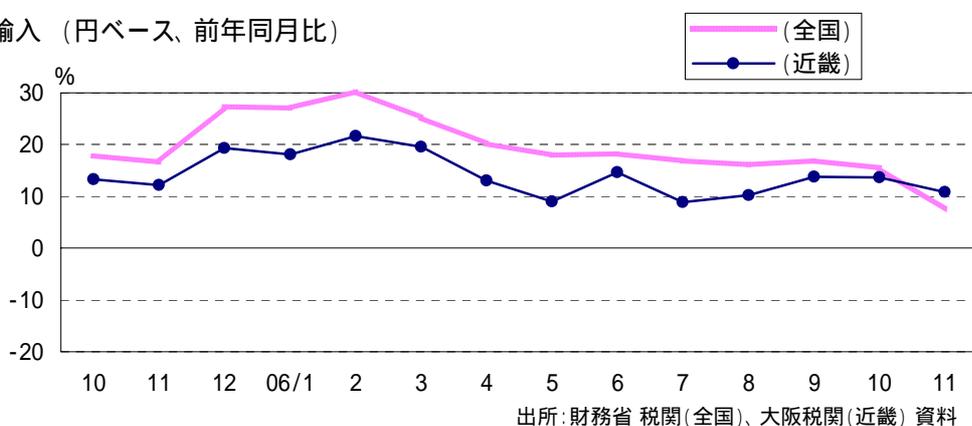
輸出入

輸出 (円ベース、前年同月比)



近畿は前年比9.5%増で56ヶ月連続のプラスとなった。自動車、音響・映像機器部品、建設用・鉱山用機械、鉄鋼等が増加。

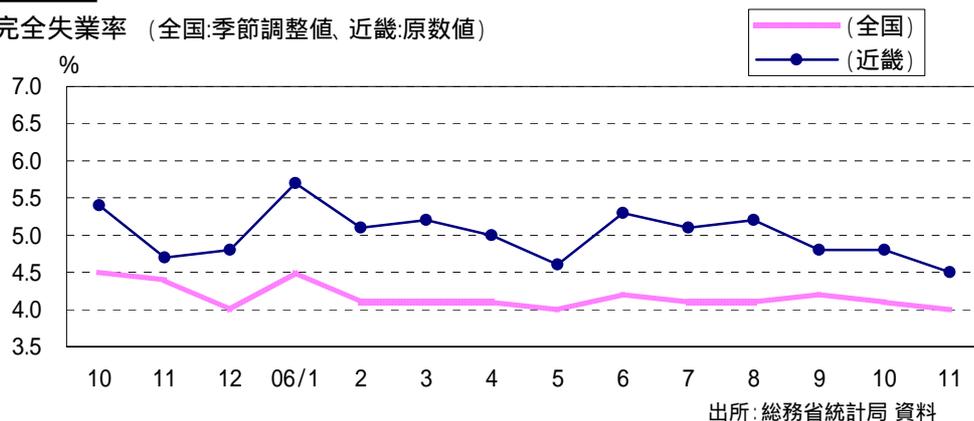
輸入 (円ベース、前年同月比)



近畿は前年比10.8%増で34ヶ月連続のプラスとなった。経済圏別(近畿・首都・中部・九州・東北)では近畿圏の輸入のみ過去最高を記録。

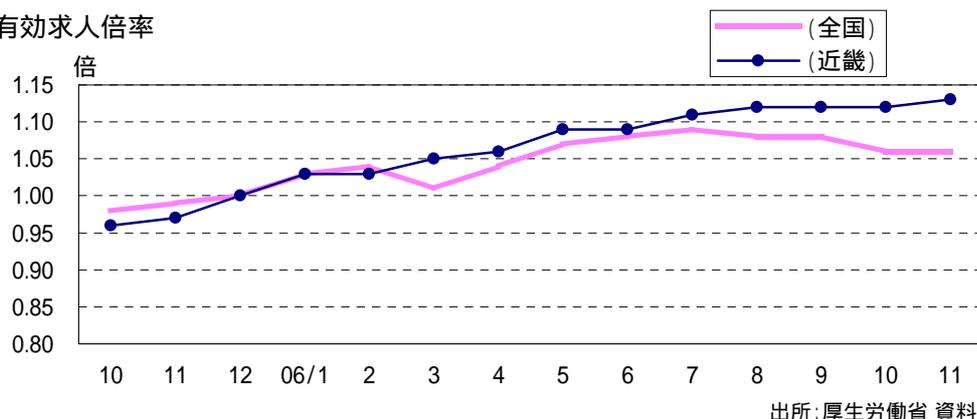
雇用・倒産

完全失業率 (全国:季節調整値、近畿:原数値)



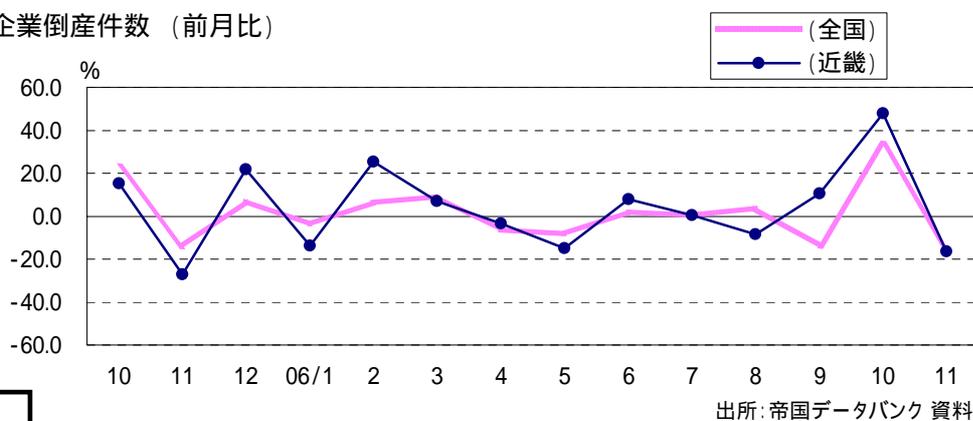
近畿の完全失業率は4.5%で、3ヶ月連続で前年を下回った。基調として、引き続き緩やかに改善している。

有効求人倍率



近畿は前月と変わらず1.13倍となった。全国(1.06倍)を上回る勢いで推移している。全国は横ばいしているのに対し近畿は上昇。

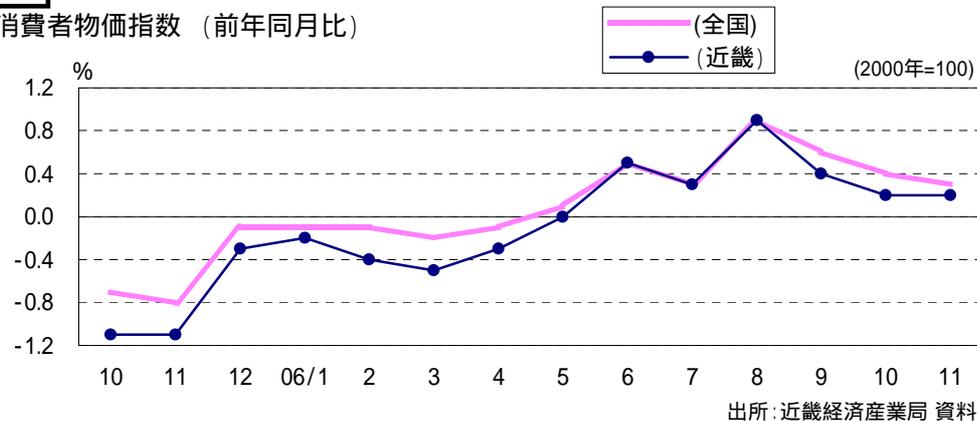
企業倒産件数 (前月比)



近畿の倒産件数は前月比16.5%減。3ヶ月移動平均で見ると、前年秋から微増傾向で推移している。

物価

消費者物価指数 (前年同月比)



近畿は100.0で前年同月比0.2%増となり前月と変わらず。「家具・家事用品」「教養娯楽」「住居」が低下している。